

(平成29年度分)

団体名	公益財団法人青少年野外活動総合センター		
			
			

キャンプなどのアウトドアアクティビティーを仕事として提供していると、切り傷やすり傷、発熱など、日常的に怪我や体調不良に遭遇します。軽い症状であれば応急手当は可能ですが、もし突然の心停止や溺れ、意識不明などが起こったら…。そしてその場にいたのが自分ではなく他の経験の浅いスタッフだけだったら…。このように考えたのが正しいCPR手順を広めようと思ったきっかけです。その後、私はMEDIC First Aid® (以下MFA)に出会い、インストラクターの資格を取得しました。MFAの特徴は実際に行動できる人を育てるための自信と勇気を育むプログラム構成であることです。自信と勇気は実践と承認によって強化されます。成人のみならず幼児や小児のマネキンを使用し、効果的な胸部圧迫の強さとリズムを掴み、スムーズで効果的なレスキュー呼吸につなげる一連の流れを練習しました。そして実際と同じ音声が出るAEDデモ機を使用し、リアルな状況で除細動のトレーニングをすることができました。これにより受講した多くの方が実際に事故と出会った際、落ち着いて対応できたと語っています。

我々の講習には13歳から60歳以上の方まで、中学生や高校生、大学生、会社員、主婦など、年齢も性別も職業も様々な方が参加されています。事故はいつでもどこで起こるかわかりません。また誰もが傷病者ともなり得、また誰もが救助者にもなり得ます。そのため不特定の方がこのような救急法のトレーニングに参加されていることは安心安全な社会を作る上で非常に有効であると考えています。

JR西日本あんしん社会財団様にマネキンとAEDを提供いただいたことで、安価に講習を開催することができ、広く多くの方にこのような機会を提供することができました。心からお礼申し上げます。